

学習は進んでいますか？

自ら学習を先に進めていくためには、教科書の文章を **正しく** 読むことが大切です。文章を読めることは、すべての学習の基本※₁であることは、言うまでも無いかと思います。また、人は考えごとをするとき、ほとんどの場合、ことばを組み合わせる文章をつくりだすということをしています。そのために、まずは「**文章を正しく読む力**」を伸ばしてほしいと思います。

(質問1)



「文章を正しく読む力」を伸ばすためには、
どうすれば良いの？

☞ どうしたら良いのでしょうか？ いくつか紹介します。

方法① ひたすら文章を読みまくる。本を 100 冊ぐらい。

方法② ひたすら文章を書きまくる。原稿用紙千枚作文。

そんなの、ムリです。



☞ そうですね、では簡単な方法を紹介します。

方法③ 教科書の文章を、ゆっくりと声を出して読む。がんばってみよう。

方法④ 一文字一文字に気をつけながら、ゆっくりと文章を読むようにする。

④A・・・まずは、ことばを正確に読む **くせ** をつけよう

☞ 次の文章を声を出しながら読んでみてください。正しく読めますか？

ア) こんちにわ赤ちゃん、私がママよ♪

イ) お昼ご飯に、ひとばん煮んこだシルクミチユーを食べた。

ウ) 理科でカスラノエドンウを観察した。

ア、イ、ウの文章、全部読めましたか？ 念のため、あやしいところを示します。

ア) こんちにわ赤ちゃん、私がママよ♪

→ こんにちは、赤ちゃん

イ) お昼ご飯に、ひとばん煮んこだシルクミチユーを食べた。

→ 煮こんだミルクシチユー

ウ) 理科でカスラノエドンウを観察した。

→ カラスノエドンウ

しっかりと、書いてあることばにこだわって、読んでいくようにしましょう。



「こんにちわ赤ちゃん」って読んだ私は、だいじょうぶなの？

☞ 気にしなくてもだいじょうぶです。人の脳には、**自動読みかえ機能**がついていて、自動的に自分が知っている **ことば** に置き換えて読めるようになっているんですよ。

でも、この機能のために、テストの問題文にでてきたことばまで、脳の中で別の意味のことばに置き換えて読んでしまう、ということが起こってしまいます。

テストの問題文を正しく読めないと言うことは・・・どうなると思いますか？

④B・・・つぎに、ことばを読み落とさない くせ をつけよう

☞ 次の文章を、声を出さずに読んでみてください。正しく読めますか？

メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮して来た。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。

こう読んでいませんか？

メロスは激怒した。必ず、かの邪智暴虐の王を除かなければならぬと決意した。メロスには政治がわからぬ。メロスは、村の牧人である。笛を吹き、羊と遊んで暮して来た。けれども邪悪に対しては、人一倍に敏感であった。

引用 「走れメロス」 太宰治 著（青空文庫）



はい、とばして読んでました。でも、「邪智暴虐」なんて読めませんよ。

☞ 「じゃちぼうぎゃく」と読みます。辞書で調べてみましょう。

→日本国語大辞典・・・邪知（悪知恵、正しくない知恵）

暴虐（心が荒く人をしいたげること。むごたらしく苦しめること。また、そのさま。）

学習で文章を読むときは、辞書を使ってくださいね。

紙の辞書のほかに、インターネットの辞書を使う、スマホのカメラを向けるだけで読み方や意味を表示してくれるアプリを使うなど、ICTを学習に活かすようにしていきましょう。

人は文章を読むときに、分からないことばを無いものとして読む くせ があります。このくせを無くすには、ことばを1つも読み落とさないようにしながら、文章を読むトレーニングが必要です。

これをしないと、文章に書いてあることの全体像を理解するのが難しくなります。また、テストでは次のようなことがおきてしまいます。

テストの問題文

図5は、調味料であるみりんから、エタノールを取り出す実験装置を示したものである。この実験装置の使い方について、下の(1)～(5)の問いに、記号で答えなさい。

こう読んでしまいました

図5は、調味料であるみりんから、エタノールを取り出す実験装置を示したものである。この実験装置の使い方について、下の(1)～(5)の問いに、記号で答えなさい。

「記号で」を読み落とした結果、どうなるか簡単に予想できますね。

今まで文章を **読めているつもり** になっていました。ことばに注意して、読み落としが無いように、しっかり読んでいきます。

☞ **読めているつもり** で終わらないよう、しっかりがんばってください。



文責 北野（研修担当）